

<p>たくましく 心豊かな 地球市民</p> 	<p>瞳かがやく 附属松本中の子ら</p> <h1>すずかけの森</h1>	<p>令和8年4月7日(火) 信州大学教育学部 附属松本中学校 学校だよりNo.1</p> 
--	---------------------------------------	---

満開の桜の花に迎えられながら、中学校の門をくぐった138名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。新入生のみなさんは、これからの附属中学校をつくっていく大切な存在であり、「附中の宝」です。希望に満ちた今の気持ちを大切にしながら、これから始まる学校生活を、仲間や先生方とともに豊かに築いていってほしいと思います。

そして、2年生・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。2年生は「附中の柱」として、3年生は「附中の顔」として、新たな一年が始まりました。新年度という節目にあたり、一人一人が新たな目標や決意を胸に、スタートを切ったことと思います。時には思うようにいかないことや、困難に向き合う場面もあるかもしれませんが、その一つ一つを乗り越えながら、一年後、今よりもたくましく成長した自分と出会えるよう、日々を大切に積み重ねていってほしいと願っています。

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。今年度も、本校の教育活動に対し、変わらぬご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。生徒一人一人が安心して学び、仲間とともに成長できる一年となるよう、教職員一同、力を合わせて支えてまいります。



## 新しい一年のはじまりに

### ～前期始業式 校長先生のお話より～

「学校の宝」となった1年生、宝から「学校の柱」となった2年生、柱から学校の顔となった3年生。いよいよ令和8年度がスタートしました。

先ほど、入学式でも1年生の皆さんには伝えましたが、これは、1年生だけでなく、2年生・3年生にも伝えたいので、皆さんにも同じ言葉を今年も贈ります。

### 「たくましく 心豊かな 地球市民」であれ

これは学校目標です。

まず、たくましくあること。

身体のとくましさはもちろん大切です。加えて私は、心のとくましさを大切にしたいと思っています。

皆さんは自分の夢がありますか。本校に来たことで、その夢に一步近づいていることでしょうか。しかし、その夢をかなえるには、数々の困難があるかと思えます。皆さんには、決して自分の夢をあきらめず、自分と向き合い、その困難を乗り越えるたくましさを身に着けてほしいと思います。これは本校の学校目標に付随する6つの生き方、「自主」や「克己」にもつながる姿です。

次に、心豊かであること。

美しいものを美しいと感じる心、他者にしてもらったことばかりを求めるのではなく、すでに今受けている行為に気づき、感謝できる心。他者と自分との比較で自分を評価し喜んだり落ち込んだりするのではなく、自身に問

いかけ、自分を成長させていく心。附属中を愛し、附属中生としての誇りをもってほしいと思っています。これは、6つの生き方の「創造」「清純」「母校愛」にもつながる姿です。

### 最後に、地球市民であること。

これからの予測不能な新しい時代に、国際的・地球的視野をもち行動できること。自文化中心主義を乗り越え、バランスの取れた価値観をもつこと。自分が自分らしくあることが大事のように、他人も他人らしくあることを認め、自他共によりよく生きようとする姿になってほしいと思っています。これは、6つの生き方の「愛他」につながり、いじめを許さない心にもつながってきます。なお、昨年度から言い続けていますが、私を含め、本校の先生たちは、絶対にいじめを許しません。

そして、附属中学校の先生方は、夢に向かって頑張る皆さんを全力で応援します。

今年、開校80周年の記念の年になります。今年度は大改革の年で、生徒会のスタート、1年は来年度の進級時に初のクラス替え、2・3年の部活動は運動部が夏まで、文化部は附中祭までで終了します。こんな大改革の年は、この80年の歴史の中でも特別で、まさに歴史に刻まれる一年になると思います。「今まで通り」が通用しないことも出てくるでしょう。しかし、80年前の先輩は、きっとこの附属松本中を作るぞと情熱をもって取り組んでいたと思います。だからこそ、この記念すべき年も、彼らに負けず、皆さんが「この学校で学べてよかった」「この仲間よかった」と誇れるような学校を一緒に作っていきましょう。

